

海外投融資情報財団(JOI)は、我が国企業の海外直接投資の動向、海外におけるエネルギー・インフラ・資源開発、新興国の投資環境とビジネス機会等に関する情報を、当財団が主催するセミナー、調査研究、機関誌やウェブサイトを通して、会員企業および一般の皆さまに提供します。かかる活動を通して会員相互の情報の交流、ネットワーク拡大を図り、我が国企業の海外直接投資・国際ビジネスの促進に寄与します。

設立 1991年12月16日(大蔵大臣認可):国際協力銀行(当時、日本輸出入銀行)・商社・製造業企業、公益事業会社、金融機関等170社の出捐により設立
2010年11月1日(一般財団法人移行)

会員 本邦主要メーカー、建設・エンジニアリング会社、商社、通信・電力・ガス会社、金融機関、内外弁護士事務所、会計事務所、コンサルティング会社、各国大使館等 約200先(2018年7月現在)

会員制度(賛助会員)のご案内

当財団会員にご入会いただきますと、以下のサービスを受けることができます。

- (1) 当財団が主催、後援、協力するセミナー(年間60件程度)への無料招待
- (2) 会員と当財団によるセミナー共催
- (3) 機関誌「海外投融資」(隔月発行)の無料配布
- (4) 当財団ウェブサイト上、会員限定公開となっている、セミナー動画・配布資料、機関誌「海外投融資」記事、レポート、「国際金融機関便覧」等の閲覧
- (5) 受託調査(独自のネットワーク活用による情報収集を通じた報告書の作成)(有料)

海外投融資

Vol.27 No.4(通巻160号)
2018年7月27日発行

発行

一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人

日塔 貴昭

〒102-0073

東京都千代田区九段北二丁目

3番6号 九段北二丁目ビル

TEL. 03-5210-3311(代)

URL. www.joi.or.jp

制作協力

(株)エディポック

*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.
©Japan Institute for Overseas Investment Printed in Japan



九段だより

●旅は日常に在り(1) 関西の入り口、関東の入り口

この九段だより、愛読者が結構いるらしい。長く執筆してきた山本前調査部長を引き継いで気が重い日々である。とはいえ、機関誌の息抜きとしての九段だより。書き手も気楽にならねばならぬ。今回から日常生活の周辺に存在している「旅」をテーマに書かせていただく。初回は東海道新幹線から見える山について。

平日、東京から新大阪に向かう新幹線の車内を見渡すと、パソコン・スマホを凝視する人、さもなくばカーテンを閉めて眠りに落ちる人ばかり。車窓に目をやる人はまばらである。勿体無い、と思う。東海道は昔も今も日本の最重要の往来である。地形・歴史・産業、いずれに関しても車窓の見所は途切れなくある。

たとえば西に向かう新幹線の車窓で、関西の入り口で大きな存在感を示すのは伊吹山であろう。関ヶ原トンネルを



伊吹山

抜けると車窓右手にどっしりとした標高1377mの山の塊が現れる。冬に雪を被った姿は荘厳だ。古くは日本書紀にてヤマトタケルノミコトの伝説の舞台となり、また修験道者

の信仰の山でもあった。この山麓を越え、新幹線は関西の淀川水系に入り琵琶湖岸に下りていく。



大山

逆に東京に近づく新幹線では、熱海を過ぎてもしばらく断続的にトンネルが続く。それらが終わる頃車窓左手に大山が現れる。丹沢山塊は標高1252mの尖った頂を境に関東平野に降りていく。ここも信仰の山であり、江戸時代には「大山講」として庶民による巡礼が盛んに行われ、山道には今も関東一円の講による石碑が所狭しと並んでいる。

さて、東海道新幹線から見えるといえば、富士山について書かないわけにはいかない。東海道新幹線の普通車について2列側を「山側」、3列側を「海側」と聞いたことのある読者も多いと思う。特に東名間の多くの山は山側だけから見える。ところが、富士山は山側だけでなく海側の車窓からも見えるのである。西に向かう場合は、静岡駅を過ぎ安倍川橋梁を渡った後に、東に向かう場合は、日本坂トンネルを抜けてしばらく、30秒間ほど海側の車窓に富士山が現れる。なぜそうなるかは読者自身、地図で確かめていただきたい。ちなみにこの海側の富士、見ると「幸せの富士山」というそうで、これまた現代の信仰の対象になっている。

(専務理事 日塔 貴昭)